

テーマ(研究課題): 心臓外科手術施行患者の術前身体活動量と術後リハビリテーション進行遅延の関連性の検討	
研究責任者	心臓リハビリテーション室・理学療法士 板垣 篤典
研究目的	近年、手術後のリハビリテーション進行は早期化しており、心臓外科術後患者の平均歩行自立日は4.3日である一方、8日以内に歩行自立ができない方が15.7%存在するという報告もあります。手術後のリハビリテーションが遅れる因子としては様々な報告がありますが、術前の身体活動量を含めた検討はされていません。そこで、今回、心臓外科手術患者の術前身体活動量と術後リハビリテーション進行遅延の関連性を検討することにしました。
対象となる患者様	2015年6月から2015年9月までの期間に当院にて待機的に心臓血管外科手術を受けられた患者様で、手術様式が冠動脈バイパス術、弁置換術・形成術、またはこれらの複合手術を受けられた方。
利用する患者情報	①患者背景(年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、合併症、NYHA分類)、②血液所見(ヘモグロビン、アルブミン、CRP、白血球数、BNP、推定糸球体濾過率)、③生理検査所見(心エコーデータ)、④手術情報(手術時間、術式)、⑤身体活動量(IPAQ)、⑥術後自立歩行再獲得病日
研究期間	2015年6月～2017年3月末
個人情報の取り扱い方法	個人情報保護法を遵守して研究を行います。 研究データは研究責任者のパソコン上で管理しますが、パスワードを掛け、研究責任者以外の閲覧はできないよう厳重に管理します。
個人情報の取り扱いについて異議がある場合の連絡先	(公財)心臓血管研究所付属病院 心臓リハビリテーション室・板垣 篤典 TEL:03-3408-2151(代)